

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【尾道市立向東中学校】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全校生徒（216名）、教職員（16名） 保護者・地域の方（30名）
3 展開の形式	（ ）教科で実施 教科名（ ） （ ○ ）教科以外で実施 （ 道徳 ）
4 目標（ねらい）	○オリンピックから、直接話を聴いたり、実技指導を受けたりすることを通して、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた興味・関心を高める。 ○オリンピックの講演から、目標を持って努力することの大切さを学び、自分の生活を振り返るとともに、今後の目標を持たせる。
5 取組内容	○講師（大山加奈選手）について紹介 ○感想文、アンケートの実施 ○学校だより、学年だよりで感想等の発信
6 主な成果	○オリンピックの話に引き込まれ、集中して聴くことができた。 ○大きな目標を立て、それに向かって小さな目標の達成を積み重ねていく大切さを学んだ。 ○自分が好きな事、やりたい事だけを頑張るのではなく、全てのことをきちんとやっていくことの大切さを学んだ。 ○自分の経験と重ねたり、自分の生活を振り返り、今後の生活に向けた目標や決意を見つけることができた。 ○オリンピック・パラリンピックに関心が高まり、自分ができる形（ボランティア等）で、関わりたいと思った生徒もいた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	○会の進行や講師の誘導などを生徒が行った。 ○保護者・地域にも実施について広報した。 ○実技指導については、3年生だけだったので、1・2年生も参観できるようにした。 ○全員で見送りをし、講師と触れ合える場をつくった。
8 主な課題等	○事前学習や事後学習の内容を充実させる。 ○体育理論とオリンピック・パラリンピック教育をからめた指導を計画的に行う必要がある。
9 来年度以降の実践予定	○ボランティアや共生社会について興味・関心を持たせる取組を行いたい。 ○来年度もオリンピック・パラリンピアンと触れ合えるような事業に参加したい。